

環境経済委員会参考資料 1

豊橋田原ごみ処理施設整備計画の  
主な変更内容について

# 平成 30 年度計画案

## 2.3 ごみ処理の流れ

豊橋田原ごみ処理施設稼働後のごみ処理の流れは、図 2-3 のとおりです。

豊橋田原ごみ処理施設で広域処理するものは、可燃（もやす・もやせる（生ごみ除く））ごみを焼却処理施設で処理し、不燃（こわす）ごみ及び粗大（大きな・粗大）ごみを粗大ごみ処理施設で処理することとします。なお、生ごみなど豊橋市及び田原市で分別が異なるごみ種の取扱いについては、市民負担や広域化による効率的なごみ処理の観点から、引き続き検討を進めていきます。

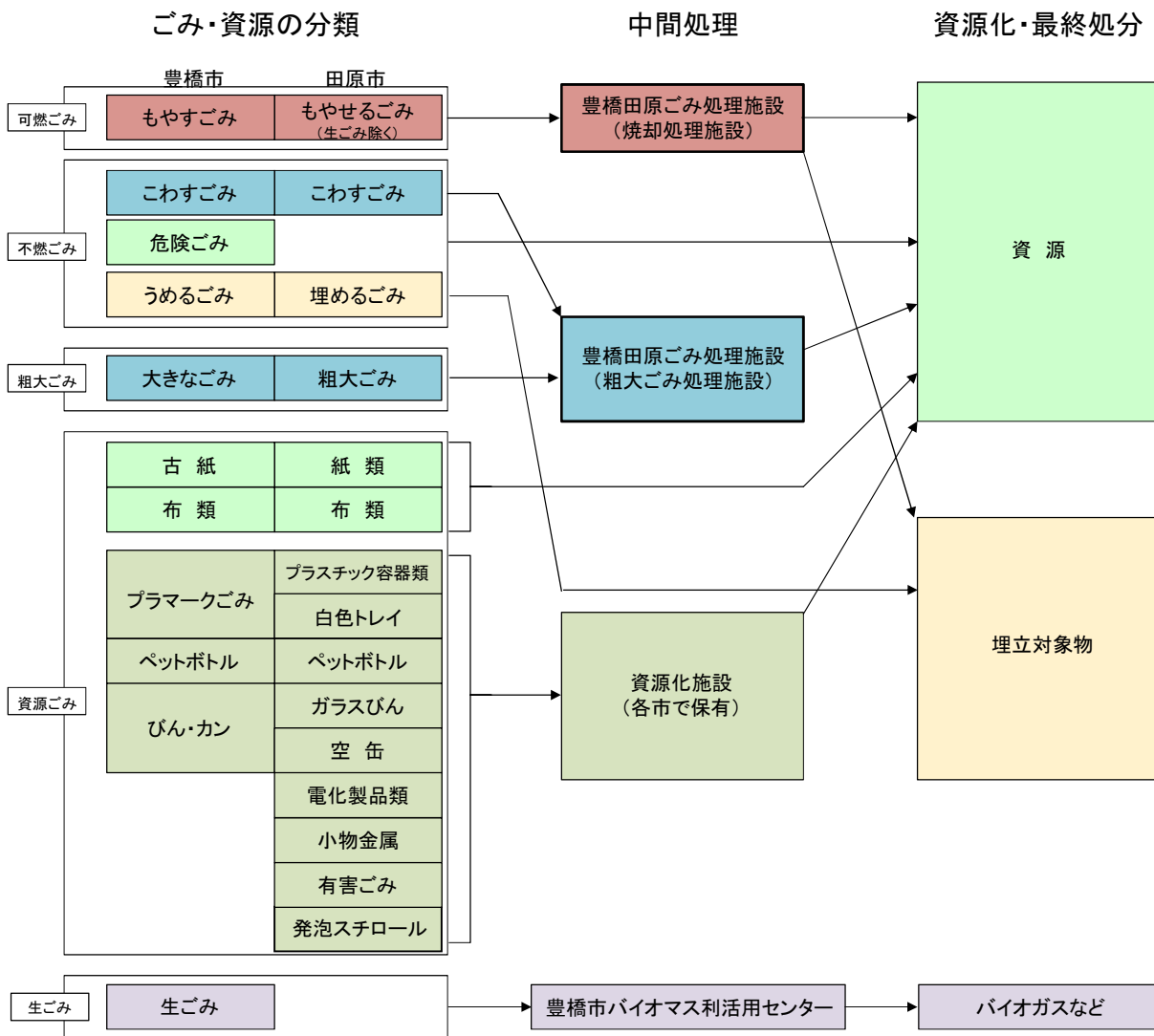


図 2-3 豊橋田原ごみ処理施設稼働後のごみ処理の流れ

### 2.3 ごみ処理の流れ

豊橋田原ごみ処理施設稼働後のごみ処理の流れは、図 2-3 のとおりです。

豊橋田原ごみ処理施設で広域処理するものは、可燃（もやす・もやせる）ごみを焼却処理施設で処理し、不燃（こわす）ごみ及び粗大（大きな・粗大）ごみを粗大ごみ処理施設で処理することとします。なお、豊橋市及び田原市で分別が異なるごみ種のうち田原市の生ごみは、豊橋市バイオマス利活用センターで処理するとともに、両市の最終処分場の一層の負荷軽減を図るため、不燃（うめる・埋める）ごみのうちガラス・陶磁器類はこわすごみとして収集し粗大ごみ処理施設で処理することとします。

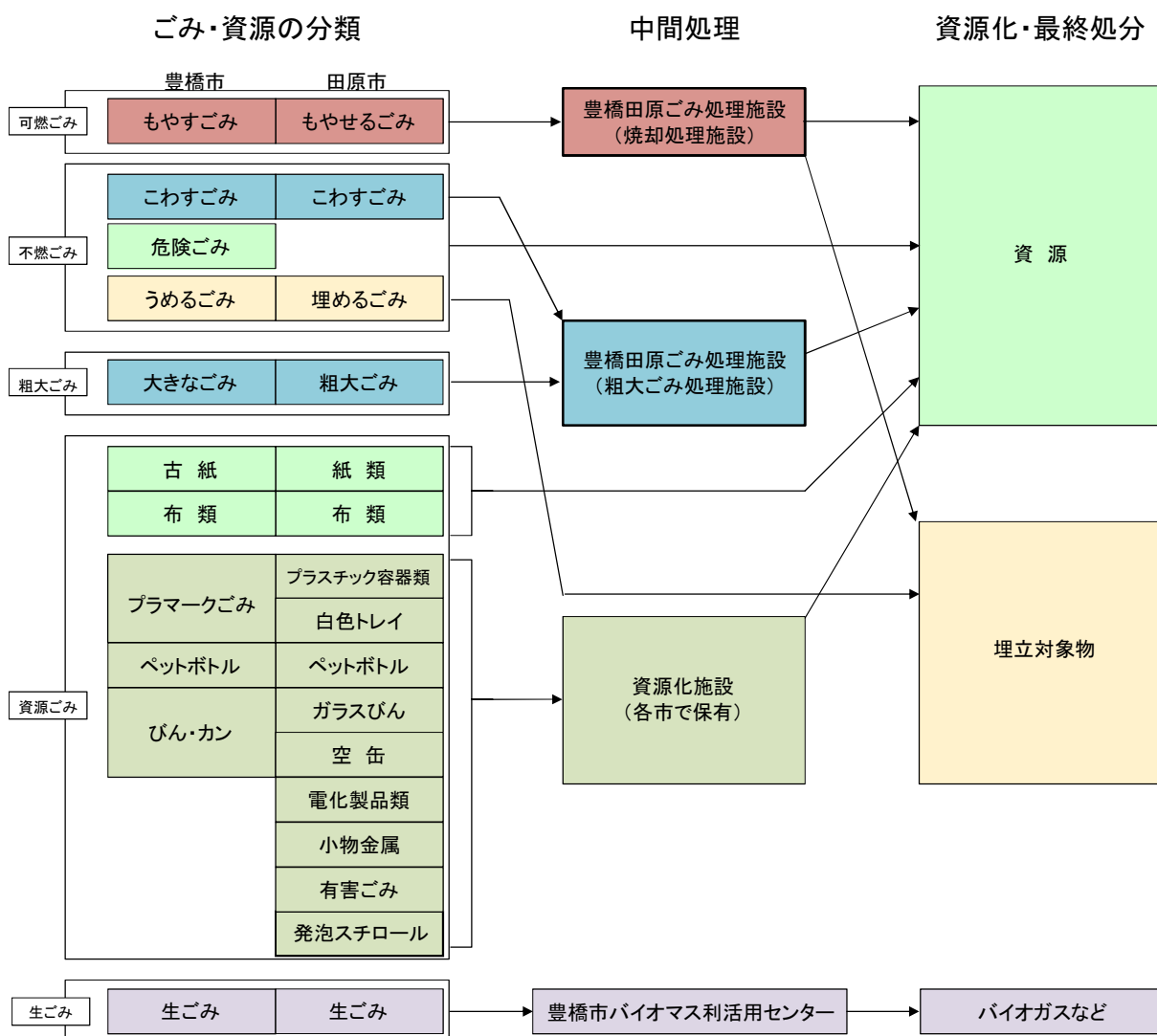


図 2-3 豊橋田原ごみ処理施設稼働後のごみ処理の流れ

# 平成 30 年度計画案

## 2.4 施設規模 (焼却処理施設)

現在、豊橋市及び田原市が保有する焼却処理施設の規模は、豊橋市 550 t/日 (200t/日×2 炉、150t/日×1 炉)、田原市 60 t/日 (30t/日×2 炉) であり、合わせて 610 t/日となります。(図 2-5 ①)

平成 28 年度の処理実績から施設規模を算定すると、豊橋市及び田原市合わせて 520 t/日となります。(図 2-5 ②)

豊橋市バイオマス利活用センターの稼働や田原市の家庭系ごみ有料化などの効果により、計画目標年次の平成 36 年度 (2024 年) には 9 頁の焼却処理量の推計に基づき 70 t/日程度のごみ処理量の減少が見込まれることから、施設規模は現時点で 450 t/日程度を想定しています。(図 2-5 ③)

ただし、平成 29・30 年度は 9 頁の推計値より一層のごみ減量傾向がみられることから、来年度、入札手続きのスタートとなる実施方針を策定するまでに焼却処理量の実績やごみ減量施策の効果を分析してさらなる規模の縮小を図り適正な施設規模を確定することとします。(図 2-5 ④)



図 2-4 焼却処理量の推計

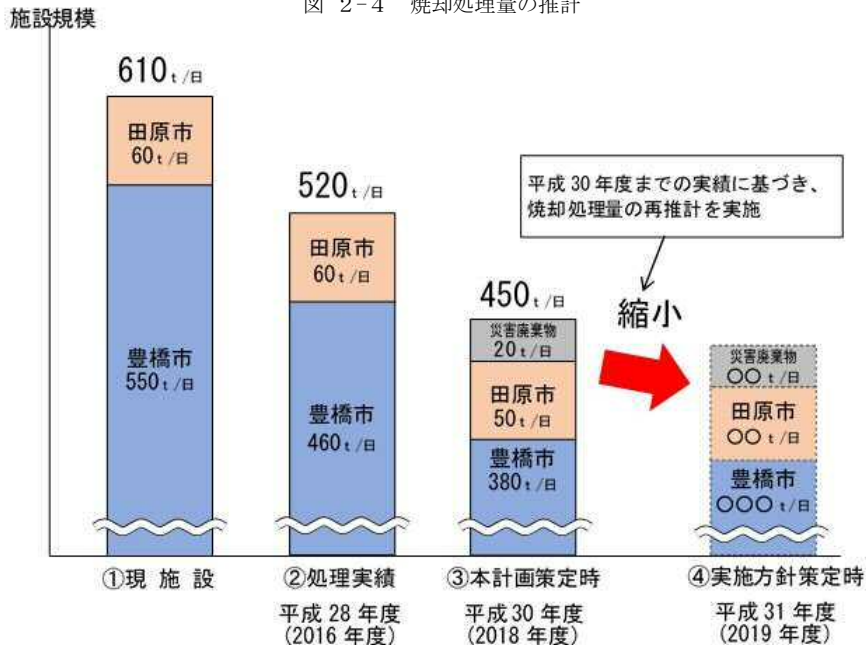


図 2-5 施設規模 (焼却処理施設)

## 2.4 施設規模（焼却処理施設）

現在、豊橋市及び田原市が保有する焼却処理施設の規模は、豊橋市 550 t/日（200t/日×2 炉、150t/日×1 炉）、田原市 60 t/日（30t/日×2 炉）であり、合わせて 610 t/日となります。（図 2-5 ①）

平成 30 年度の計画案では、豊橋市及び田原市を合わせて 450 t/日を想定していましたが（図 2-5 ②）、平成 30 年度までの過去 5 年間の処理実績から再度施設規模を算定すると、計画目標年次の令和 6 年度には 9 頁の焼却処理量の推計に基づき 30 t/日程度のごみ処理量の減少が見込まれることから、施設規模は 420 t/日とします。（図 2-5 ③）

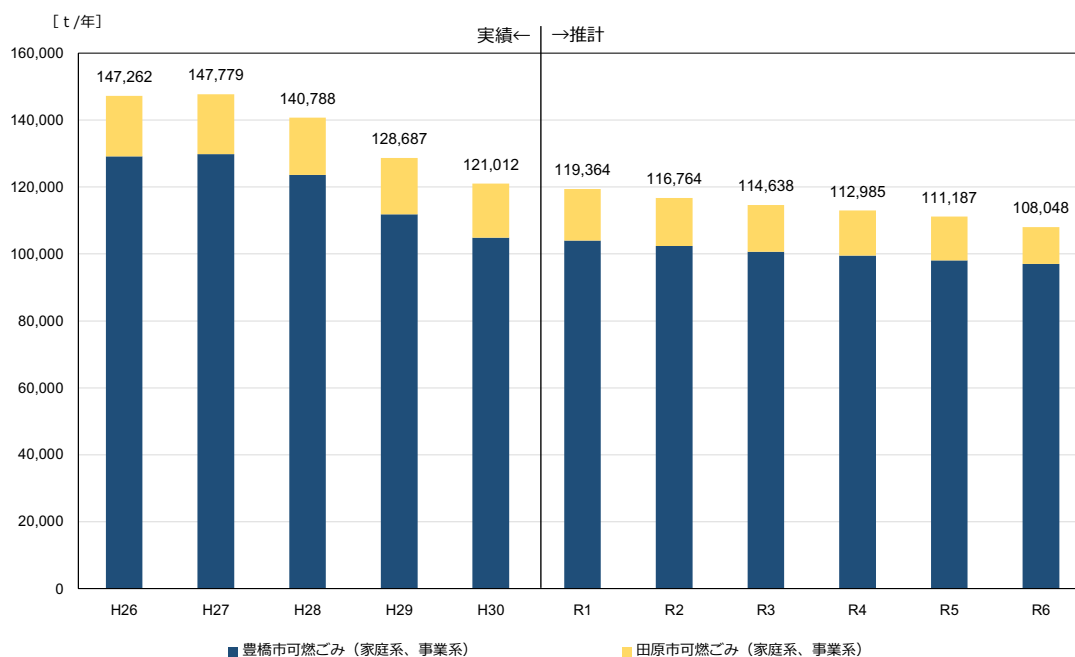


図 2-4 焼却処理量の推計

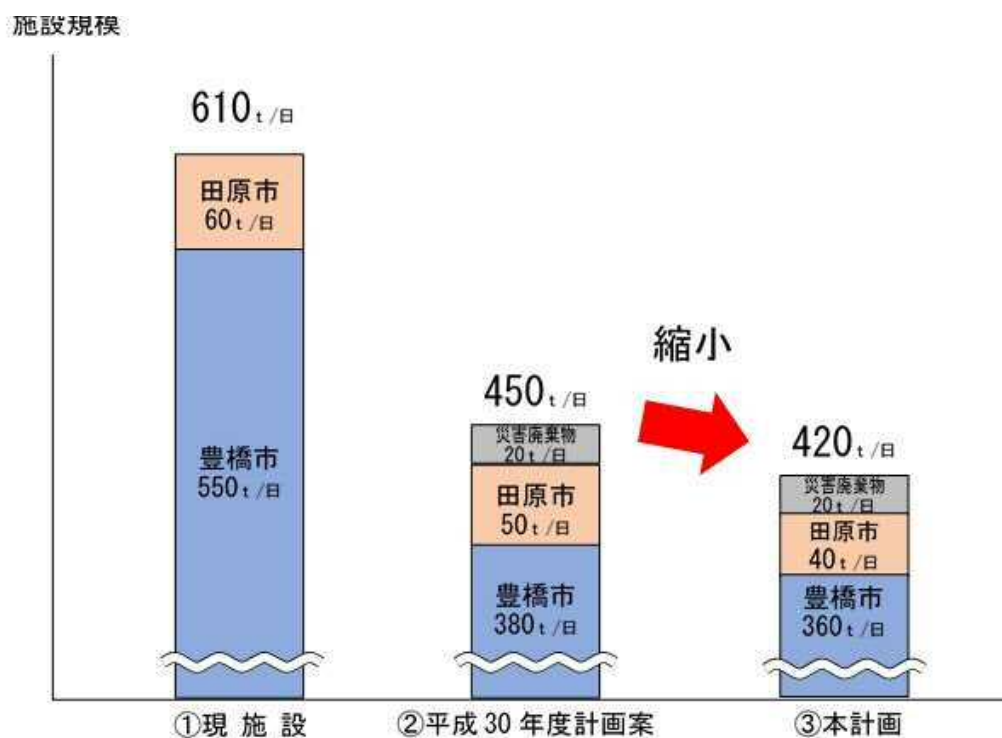


図 2-5 施設規模（焼却処理施設）

# 平成 30 年度計画案

## 2.4 施設規模 (粗大ごみ処理施設)

現在、豊橋市及び田原市が保有する粗大ごみ処理施設の規模は、豊橋市 70 t/日、田原市 15 t/日であり、合わせて 85 t/日となります。(図 2-7 ①)

平成 28 年度の処理実績から施設規模を算定すると、剪定枝りサイクル施設での処理量の増加や指定ごみ袋制度導入により近年大きく減少しており、豊橋市及び田原市を合わせて 44 t/日となります。(図 2-7 ②)

今後は豊橋市及び田原市ともにごみ減量・資源化の推進や人口の減少によりゆるやかに減少すると見込まれ、また、田原市は家庭系ごみ有料化などの効果による減少が見込まれており、施設規模は現時点で 40 t/日程度を想定しています。(図 2-7 ③)

なお、焼却施設と同様に入札手続きのスタートとなる実施方針を策定するまでに破碎処理量やごみ減量施策の効果を分析し、平成 30 年度までの実績に基づき再推計を実施して適正な施設規模を確定することとします。(図 2-7 ④)

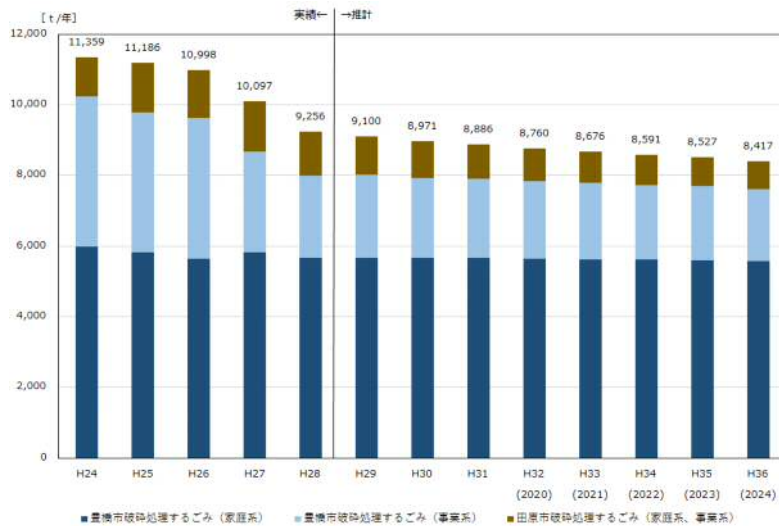


図 2-6 破碎処理量の推計

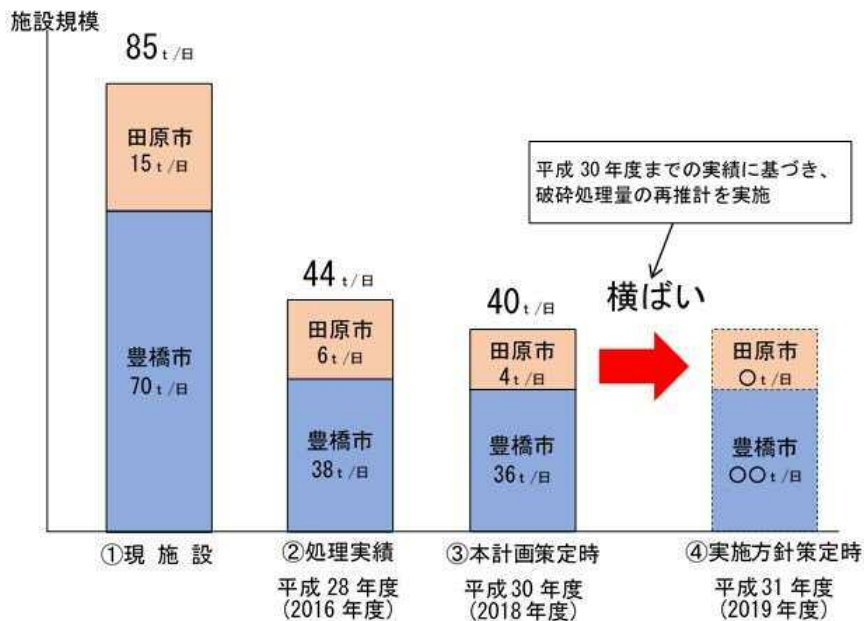


図 2-7 施設規模 (粗大ごみ処理施設)

2.4 施設規模 (粗大ごみ処理施設)

現在、豊橋市及び田原市が保有する粗大ごみ処理施設の規模は、豊橋市 70 t/日、田原市 15 t/日であり、合わせて 85 t/日となります。(図 2-7 ①)

13 頁の破碎処理量の推計に示す通り、平成 30 年度までの過去 5 年間の処理実績及び不燃(うめる・埋める)ごみのうちガラス・陶磁器類を加えて再度施設規模を算定すると、計画目標年次の令和 6 年度には平成 30 年度計画案と同規模の 40 t/日となります。(図 2-7 ③)

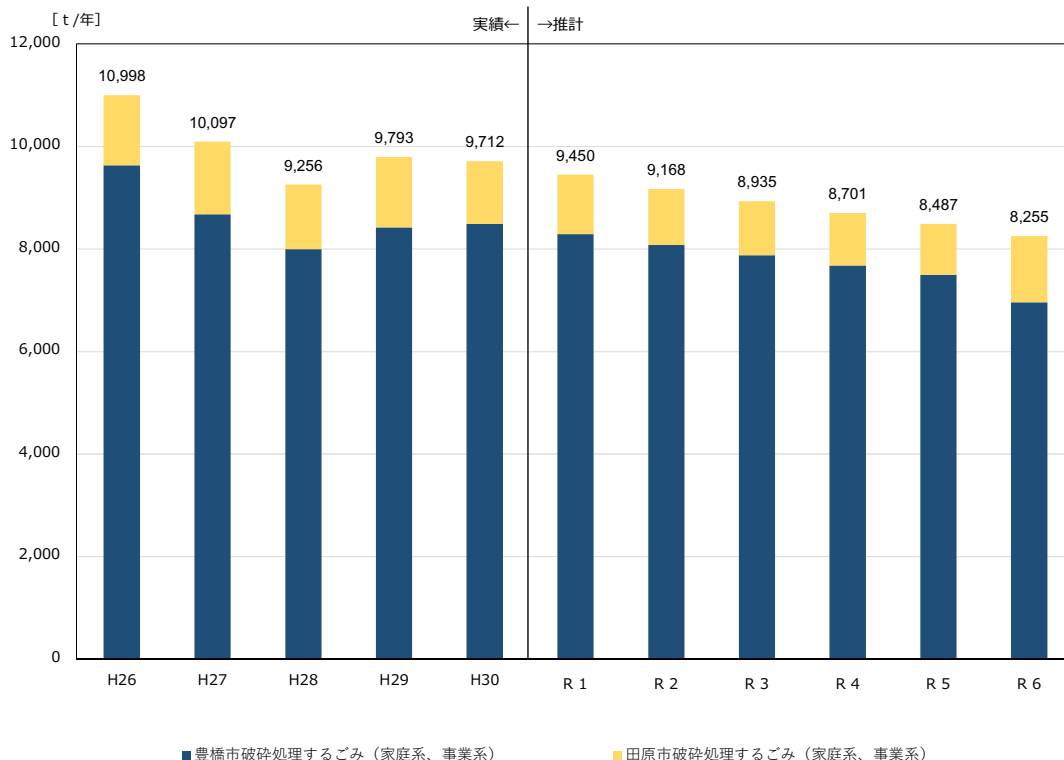


図 2-6 破碎処理量の推計

施設規模

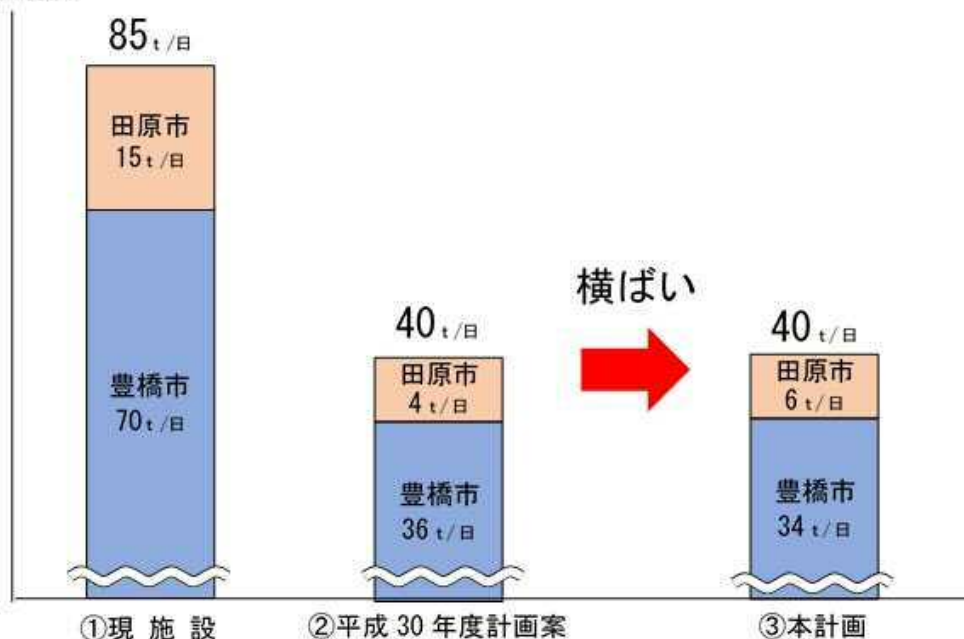


図 2-7 施設規模 (粗大ごみ処理施設)